

第 6 章

環境配慮行動

第6章 環境配慮行動

本計画の望ましい環境像を達成するために、日々の暮らしや事業活動の中で、環境に配慮した自主的な取組も不可欠です。

このため、環境分野ごとに設定した基本目標に沿って、市民の日常生活や事業者による事業活動の各場面で環境に配慮した行動が求められます。

●日常生活や事業活動の各場面での環境配慮

| 環境分野 | 基本目標 | 市民の日常活動 | 事業者による事業活動 |
|----------------------------|---|---|---|
| 分野1 脱炭素社会の構築 | 基本目標1 恵まれたあきたの資源・エネルギーをいかした便利で活力ある暮らしの実現 | ア 電気やガス、灯油などを使うとき イ 買物をするとき ウ 外出するとき エ 住宅の管理や新築・増改築をするとき | ア エネルギー・資源を使用するとき イ 移動・輸送するとき ウ 建物の管理や新築・増改築をするとき |
| 分野2 循環型社会の構築 | 基本目標2 3Rの推進と資源の好循環に基づく持続可能な地域社会の構築による快適な暮らしの実現 | ア モノを使うとき イ 買物をするとき ウ ごみを出すとき エ 地域の活動に参加、協力するとき | ア 使うとき、購入・調達するとき イ 製品・サービスを提供するとき ウ 廃棄物を排出するとき エ 地域に貢献するために |
| 分野3 安全な生活環境の確保 | 基本目標3 穏やかで心地よい環境によって支えられる安全な暮らしの実現 | ア 大気環境を守るために イ 水環境を守るために ウ その他の生活環境を守るために | ア 大気環境を守るために イ 水環境を守るために ウ その他の生活環境を守るために |
| 分野4 自然共生社会の構築 | 基本目標4 あきたらしい自然に包まれ、人と自然が調和した心豊かな暮らしの実現 | ア 自然にふれあい、楽しむとき イ 自然環境に負担をかけるために ウ 住宅の管理や新築・増改築をするとき エ 地域の活動に参加、協力するとき | ア 生物多様性への理解と普及の促進のために イ 希少種の保全と外来種への対策のために ウ 豊かな自然環境の保全のために エ 森林や農地等の持続可能な利用のために オ 野生生物との適切な関係の確保のために カ その他歴史的・文化的環境との調和のために |
| 分野5 協働による環境保全の取組 | 基本目標5 あらゆる主体が協働で環境保全活動に取り組むことで、地域環境が整備された、人にも地球にもやさしい暮らしの実現 | ア 環境情報を取り入れ、活用するために イ 環境について学ぶために ウ 地域での環境教育・環境学習を広めるために | ア 環境管理を進めるために イ 社内の環境教育のために ウ 環境情報を活用、提供するために エ 地域に貢献するために |

1 市民の環境配慮行動

(1) 環境分野 1 脱炭素社会の構築

ア 電気やガス、灯油などを使うとき

- 日常生活における電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用状況をチェックし、節約に努めましょう。
- エアコンやテレビ、照明などの家電製品の節電に努めましょう。
- 冷暖房温度の設定を適正にし、クールビズ[※]・ウォームビズ[※]に取り組みましょう。
- 照明のこまめな消灯や照度管理などを行い、節電に努めましょう。
- テレビやパソコン、温水便座などは省エネモードを活用しましょう。
- 各家庭のエネルギー使用状態をチェックし、省資源や省エネルギーを実践しましょう。

イ 買物をするとき

- 家電製品を購入するときは、省エネ製品を選択しましょう。
- 照明を取り替えるときは、LED[※]照明を選択しましょう。

ウ 外出するとき

- 徒歩又は自転車の利用、公共交通機関の利用など、自動車の使用をできるだけ控えるように努めましょう。
- ふんわりアクセル「eスタート」やアイドリングストップ[※]など、環境に配慮したエコドライブ[※]の実践に努めましょう。
- 次世代自動車[※]や燃費の良い車など、環境への負荷[※]の少ない車の選択・利用に努めましょう。

エ 住宅の管理や新築・増改築をするとき

- 住宅を快適かつ最もエネルギー消費を効率的にコントロールする監視・制御システム（HEMS[※]）を導入しましょう。
- 住宅の管理や新築・増改築を行う際は、省エネルギー化や再生可能エネルギー[※]の導入に努めましょう。
- ベランダや屋上・壁面の緑化に努めましょう。

コラム12 「緑のカーテン」を始めよう

緑のカーテン（グリーンカーテンともいいます。）は、二酸化炭素の削減や夏の節電対策として、ゴーヤやアサガオなどのツル性植物を育てて室内に入る日光を遮断する取組です。

秋田市では、緑のカーテンの省エネルギー効果等を市民および市内事業者に広く情報発信し、一層の普及を図ることを目的として、毎年度「秋田市緑のカーテン写真展」を開催しています。

緑のカーテンを育てて、写真展に応募してみませんか。



緑のカーテンの例（秋田市緑のカーテン写真展応募作品）

(2) 環境分野2 循環型社会の構築

ア モノを使うとき

- 再使用や再生利用に協力し、日常生活におけるごみ減量に努めましょう。
- 調理の際には、使い切る、食べ切る、ごみの水気を切るなどし、生ごみの減量と食品ロス^{*}の削減に努めましょう。
- ビン、缶、ペットボトル、古新聞、ダンボールなどのリサイクルに努めましょう。

イ 買物をするとき

- 計画的に、必要なものを必要な分だけ買うように努めましょう。
- リサイクル製品や省エネ製品など環境にやさしい製品の購入に努めましょう。
- マイバッグやマイボトルを持ち歩く、使い捨てのスプーン・ストロー（ワンウェイプラスチック）は断るなど、プラスチックごみの発生抑制に向けたライフスタイル^{*}を意識しましょう。また、購入したプラスチック製品は繰り返し長く使うなど、上手に利用しましょう。
- 商品の「てまえどり^{*}」など、食品ロスの削減に向けて事業者が実施する取組を理解・実践し、優良な事業者の取組を支援しましょう。

ウ ごみを出すとき

- ごみの分別方法、排出日など、ごみの出し方は決められたルールを守りましょう。
- 使用済小型家電の回収・リサイクルに協力しましょう。

エ 地域の活動に参加、協力するとき

- 不要になったものはフリーマーケットやオークションなどを活用し、再使用に努めましょう。
- 地域における集団回収などのリサイクル活動に参加、協力しましょう。
- 河川や海岸などのクリーンアップに参加するなど、まちの美化に努めましょう。
- ごみの不法投棄やポイ捨ては、絶対にしないようにしましょう。
- いただきものや買いすぎてしまったものなど、保管されたままになっている食料品はフードバンク^{*}に提供するなど、食品ロスとならないようにしましょう。
- フードドライブ等を通じて支援を必要とする団体に食品を寄附するなど、未利用食品の有効活用により食品ロスの削減に努めましょう。

コラム 13 「ごみ減量キャンペーン」に参加してみよう

秋田市では、ごみの現状や具体的な減量手法、分別などについて紹介するごみ減量キャンペーンを実施しています。ごみ減量キャンペーンの開催については、広報あきたやホームページで案内しています。お近くで開催の際はぜひお立ち寄りください。

○ごみゼロキャンペーン

5月30日が「ごみゼロ」と読めることから、秋田市ごみ減量キャラクター「エコアちゃん」が参加し、秋田駅東西連絡自由通路などでごみ減量を呼びかけるPRを行っています。

○食品ロス*削減キャンペーン

10月の食品ロス削減月間に合わせ、市内のスーパーマーケットなどで、来店客に食品ロス削減を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

○ごみ減量アクション

にぎわい交流館などを会場に年4回、ごみ減量講座やパネル展示、ごみ減量グッズ抽選会、楽しみながらごみ減量を学べるゲームなど、様々なイベントを実施しています。

・ごみゼロキャンペーンの様子



・ごみ減量アクションの様子



(3) 環境分野3 安全な生活環境の確保

ア 大気環境を守るために

- 徒歩又は自転車の利用、公共交通機関の利用など、自動車の使用をできるだけ控えるように努めましょう。【再掲】
- ふんわりアクセル「eスタート」やアイドリングストップ[※]など、環境に配慮したエコドライブ[※]の実践に努めましょう。【再掲】
- 次世代自動車[※]や燃費の良い車など環境への負荷[※]の少ない車の選択・利用に努めましょう。【再掲】

イ 水環境を守るために

- 日常生活における水の有効利用と節水に努めましょう。
- 河川を汚濁しないよう、家庭からの雑排水の抑制に努めましょう。
- 下水道への接続および浄化槽[※]の設置・維持管理により、生活排水による汚濁防止に努めましょう。
- 油の流出などによる水質汚濁事故が発生しないよう、ホームタンクなどの適正な管理に努めましょう。

ウ その他の生活環境を守るために

- 日常生活に伴う騒音や振動（自動車、音響機器など）の防止に努めましょう。
- 悪臭の発生防止に努めましょう。
- 殺虫剤や除草剤などの使用は、必要最小限に抑えましょう。



油が流出した水路



エコドライブ講習会の様子

(4) 環境分野4 自然共生社会の構築

ア 自然にふれあい、楽しむとき

- 四季の自然の変化を楽しんだり、身近な動植物に目を向けたりして、自然に親しみましょう。
- 健康づくりにも役立つウォーキングやサイクリングをしたり、山や海に出かけたりして、楽しみながら自然に親しみましょう。
- 体験学習会や自然観察会に参加してみましょう。
- 地場産の食材を活用し、地産地消^{*}および伝統的な食文化の継承に協力しましょう。
- 地域の動植物や自然環境に関心を持ちましょう。
- 生物多様性^{*}の保全と生態系^{*}の持続可能な利用が、日々の暮らしと密接に関わっていることを意識しつつ行動しましょう。
- 自然とのふれあいで感じたことを、家族や友人など多くの人に伝えましょう。

イ 自然環境に負担をかけないために

- 絶滅のおそれのある動植物を捕まえたり採ったりしない、自然環境を守るためのマナーを守りましょう。
- ペットは責任を持って飼育しましょう。（捨てたり逃がしたりしてはいけません。）
- 地域の生態系を乱さないよう、外来種を入れない、捨てない、拡げないようにしましょう。
- 生物多様性に配慮した製品やサービス等を選択しましょう。

ウ 住宅の管理や新築・増改築をするとき

- 生け垣の設置や庭木の植栽、鉢植えなど、緑化をしましょう。
- ベランダや屋上・壁面の緑化に努めましょう。【再掲】
- 住宅の管理や新築・増改築をするときには、近隣に配慮するとともに、良好な地域の景観づくりに努めましょう。

エ 地域の活動に参加、協力するとき

- 地域の緑化活動や里山^{*}保全活動、ビオトープ^{*}づくりなどに参加・協力しましょう。
- 生物多様性の保全に関する活動に積極的に参加しましょう。
- 歴史的な街並みおよび建物の保存に協力しましょう。
- 郷土の歴史や文化を学んでみましょう。
- 郷土の祭りや年中行事、伝統芸能などの伝承活動に参加しましょう。

(5) 環境分野5 協働による環境保全の取組




ア 環境情報を取り入れ、活用するために

- 環境に関するニュースや新聞記事、市が提供する情報などを集め、環境保全活動に活用しましょう。
- エコマークやグリーンマークなど、環境ラベルのある製品を優先して購入しましょう。

コラム 14 環境ラベルのついた製品を選ぼう

環境ラベルは、製品やサービスの環境情報を製品や包装ラベル、製品説明書、広告、広報などを通じて購入者に伝えるものです。環境ラベルを参考に、環境にやさしい製品やサービスを選んでみましょう。

●主な環境ラベル

| | |
|---|---|
| <p>エコマーク</p>  | <p>商品のライフサイクル全体を考慮して、環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品に付けられるマークです。幅広い商品が対象となり、商品の分野ごとに認定基準が設定されています。</p> |
| <p>グリーンマーク</p>  <p>グリーンマーク</p> | <p>原料に古紙を規定の割合（40%）以上利用している製品に付けられるマークです。コピー用紙、学習帳、トイレトーパー、ティッシュペーパーなどに表示されています。</p> |
| <p>再生紙使用マーク</p>  | <p>紙や紙製品に再生紙が利用された時に付けられるマークです。右の数字は古紙パルプ配合率を示します。再生紙の利用促進・普及啓発をしていくためのシンボルマークとして定められました。</p> |
| <p>植物油インキマーク</p>  | <p>再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした環境にやさしいインキを使用していることを示すマークです。</p> |
| <p>バイオマスマーク</p>  | <p>生物由来の資源（バイオマス）を10%以上利用し、品質および安全性が関連法規、基準、規格等に適合する商品に付けられるマークです。植物等のバイオマスから作られる商品は、燃やしてもCO₂の増減に影響を与えません。</p> |

参考：環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」

<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/>

イ 環境について学ぶために

- 環境問題について、家族や友人など身の回りの人と話してみましょう。
- 「あきた次世代エネルギーパーク」や自然学習施設などに行って、楽しみながら環境について学びましょう。
- 環境学習会や環境保全活動に関する情報交換会などに参加しましょう。
- 環境カウンセラー*や地球温暖化防止活動推進員などの講師を活用し、環境学習をしてみましょう。

ウ 地域での環境教育・環境学習を広めるために

- 市や市民団体などが行う環境保全活動、環境教育・環境学習活動に参加しましょう。
- 楽しく学べる環境教育・環境学習の場・機会を増やすために、市民自らが市民参加の調査や環境保全活動に関する体験発表を企画してみましょう。



大学病院前の水辺環境を守る会
(自然環境保全市民活動計画)



旭川の生きもの調査 (総合学習サポート)

2 事業者の環境配慮行動

(1) 環境分野 1 脱炭素社会の構築

ア エネルギー・資源を使用するとき

- 事業活動における電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用状況を記録・管理し、有効利用と節約に努めましょう。
- 冷暖房温度の設定を適正にし、クールビズ[※]・ウォームビズ[※]に取り組みましょう。
- 照明のこまめな消灯や照度管理などを行い、節電に努めましょう。
- 照明を取り替えるときは、LED[※]照明を選択しましょう。
- 機器の適正な運転および更新による省エネに努めましょう。
- 省電力OA機器の採用や省エネモードの設定を行いましょう。
- 長寿命化、リサイクル、省エネなどを考慮した製品の開発および提供に努めましょう。
- 原料調達や製造、流通、販売、サービス提供など事業活動の各段階で、エネルギー利用の効率化や改善に努めましょう。

イ 移動・輸送するとき

- ふんわりアクセル「eスタート」やアイドリングストップ[※]など、環境に配慮したエコドライブ[※]の実践に努めましょう。
- 貨物列車など二酸化炭素排出量を抑え、使用エネルギーの少ない物流への転換（モーダルシフト[※]）に努めましょう。
- 次世代自動車[※]や燃費の良い車など、環境への負荷[※]の少ない車の選択・利用に努めましょう。

ウ 建物の管理や新築・増改築をするとき

- 適切な計量・計測機器の設置や、ビルエネルギー管理システム（BEMS[※]）などの導入により、効率的な運用ができるようにしましょう。
- 省エネルギー診断やエネルギーの見える化サービスなどを利用し、省エネ対策に取り組みましょう。
- 建築物などの管理や新築・増改築を行う際は、省エネルギー化や再生可能エネルギー[※]の導入に努めましょう。
- 敷地内および屋上・壁面の緑化に努めましょう。
- 業務用の冷凍冷蔵機器や空調機器などの点検管理を行い、フロンガス[※]の漏洩防止および適正な回収・処理に努めましょう。

(2) 環境分野2 循環型社会の構築

ア 使うとき、購入・調達するとき

- 事業活動における再使用および再生利用を推進し、廃棄物の排出抑制に努めましょう。
- 自らの事業活動に関して発生させている食品ロス^{*}を把握し、その削減に向けた取組に努めましょう。
- 食品ロスの削減に努めましょう。
- 材料や部品、オフィス用品などは、リサイクル製品や省エネ製品など環境にやさしい製品の購入に努めましょう。

イ 製品・サービスを提供するとき

- 長寿命化、リサイクル、省エネなどを考慮した製品の開発および提供に努めましょう。【再掲】
- 商品の輸送・配送の際は、繰り返し使用できる梱包箱などの廃棄物を出さない容器を使用しましょう。
- 食品製造事業者は、原料の無駄のない利用や製造工程等の適正管理、賞味期限の延長化・大括り化等により、食品ロスの削減に努めましょう。
- 食品小売事業者は、小分け販売や少量販売など消費者が購入量を選択できるようにするなど、販売の工夫に取り組みましょう。
- 外食事業者は、宴会等の最初の30分間と最後の10分間を食事に集中するアクション「食う～べえタイム」の呼びかけを行うなど、食べ切りを実践できるよう工夫しましょう。

ウ 廃棄物を排出するとき

- 事業活動から出てくる廃棄物は、適正に分別排出しましょう。
- 廃棄物は、法令などを遵守し、排出者の責任において適正に処理しましょう。
- やむをえず事業活動により発生させてしまった食品廃棄物は、堆肥化やバイオガス化等により資源としての活用に努めましょう。

エ 地域に貢献するために

- 河川や海岸などのクリーンアップ、地域の美化活動への参加、協力を努めましょう。
- 不法投棄は、絶対にしないようにしましょう。
- 食品関連事業者は、未利用食品等を有効活用するフードバンク^{*}活動を理解し、その支援に努めましょう。

コラム15 「もったいないアクション」で食品ロスを減らそう

期限切れや食べ残しなど、まだ食べられるにもかかわらず、廃棄されているものを食品ロスとといいます。国内で発生している食品ロスは、年間約522万トンで、これは、世界全体の食料援助量（年間約420万トン）の1.2倍に相当します。

秋田市では、食べ物を大切に、残さずおいしく食べ切ることを啓発する取組「もったいないアクション」を進めています。この各種取組は、事業所の協力を得ながら行っています。特に宴会場や飲食店で食べ残しを減らすため、次のような取組にご協力いただいている事業所を、「もったいないアクション協力店」として市のホームページなどで紹介しています。

●もったいないアクション協力店の表示



① 「食う～ベエタイム」のご提案

宴会では、盛り皿などの料理が残ってしまいがちです。そこで、宴会等の開会から約30分と閉会前の最後の約10分を「食う～ベエタイム」として、自分の席で料理を楽しむ時間を設定し、出された料理を残さずおいしく食べ切るよう呼びかけを行っています。

② 食べきり啓発POP（立札）による啓発

市内のホテル・飲食店等の協力を得て、食事や宴会時のテーブル上などに、啓発のための立札を設置し、利用者に向けて「残さずおいしく食べ切る」ことを啓発しています。

●食べきり啓発POP



③ 食べきり啓発ポスターの掲示

市内の飲食店やスーパー等の事業所の協力を得て、ポスターを掲示しています。

参考：秋田市役所公式サイト「<https://www.city.akita.lg.jp/>」の「サイト内検索」で「もったいないアクション」を検索

(3) 環境分野3 安全な生活環境の確保

ア 大気環境を守るために

- 大気汚染防止対策の充実に努めましょう。
- ふんわりアクセル「eスタート」やアイドリングストップ[※]など、環境に配慮したエコドライブ[※]の実践に努めましょう。【再掲】
- 出張などでは、公共交通機関を活用しましょう。【再掲】
- 毎月第4金曜日の秋田市ノーマイカーデー[※]に参加しましょう。
- 次世代自動車[※]などによる輸送に努めるとともに、貨物列車など二酸化炭素排出量を抑え、使用エネルギーの少ない物流への転換（モーダルシフト[※]）に努めましょう。【再掲】
- 次世代自動車や燃費の良い車など、環境への負荷[※]の少ない車の導入に努めましょう。【再掲】

イ 水環境を守るために

- 事業活動における水の有効利用と節水に努めましょう。
- 排水処理施設などの整備および適正管理に努めましょう。
- 油の流出などによる水質汚濁事故が発生しないよう適正な管理に努めましょう。

ウ その他の生活環境を守るために

- 事業活動に伴う騒音および振動の防止ならびに悪臭防止対策に努めましょう。
- 化学物質の適正な管理に努めましょう。
- 揮発性有機化合物[※]や水銀などの有害化学物質[※]の放出を抑制する対策を行いましょ。
- 建物の解体・改修に当たっては、アスベスト[※]の調査および飛散防止対策を行いましょ。
- 農薬や化学肥料の使用量を減らしましょ。
- 地域住民とリスクコミュニケーションを行うなど、情報の共有および相互の理解の促進に努めましょ。

(4) 環境分野4 自然共生社会の構築

【自然環境配慮指針】

環境分野4の環境配慮行動は、自然環境に影響を与える事業を行おうとする者が当該事業の計画策定や実施に際して自然環境の保全等への配慮を行う場合の指針とし、秋田市自然環境保全条例第16条の「自然環境配慮指針」として位置付けます。

ア 生物多様性への理解と普及の促進のために

- 事業活動が生物多様性^{*}の保全と持続可能な利用により成り立っていることを理解しましょう。
- 従業員や消費者、民間団体等と協働した生物多様性の保全活動を行いましょう。
- 生物多様性の保全活動を行っている民間団体等を支援しましょう。
- 生物多様性の保全と持続可能な利用に資する技術の開発や普及活動に取り組みましょう。
- 生物多様性に配慮して作られた環境ラベルのある製品を優先して選びましょう。

イ 希少種の保全と外来種への対策のために

- 地域の生態系^{*}を乱さないよう、外来種を入れない、捨てない、拡げないようにしましょう。
- 生きものを販売する際は、責任を持って飼育するよう購入者に十分な説明を行いましょう。
- 希少な野生生物の生息・生育地に影響を与えるような開発事業等は、できる限り回避しましょう。やむを得ず、開発事業等を行う場合は、改変面積を最小限にするとともに植物の移植や動物の移動経路の確保などにより影響を軽減しましょう。

ウ 豊かな自然環境の保全のために

- 地域の生態系に配慮しながら緑化や植栽等を推進しましょう。
- 敷地内の緑地や林地等の適切な管理に努めましょう。
- 自然の減少につながるような事業活動を行う場合には、代替措置として植林や他の地域での自然回復に努めましょう。
- 建築物などの新築・増改築をするときには、自然環境に調和した建物の外観や植栽などにより良好な地域の景観づくりに努めましょう。

第6章 環境配慮行動

- 地域の緑化活動や森林・農地・河川等の保全活動などに参加・協力しましょう。

エ 森林や農地等の持続可能な利用のために

- 森林や農地等の適切な維持管理に努め、自然環境と調和した農林業を行いましょう。
- 農薬や化学肥料の使用低減に努め、生物多様性^{*}や周辺の自然環境に配慮しましょう。
- 畜産業や林業等により発生するバイオマス^{*}について、堆肥化や燃料化により有効活用を図りましょう。
- 間伐材や端材などを利用した商品の開発や購入に努めましょう。
- 地場産の木材や農作物を利用するなど、地産地消^{*}に努めましょう。

オ 野生生物との適切な関係の確保のために

- 管理する敷地内への鳥獣等の侵入防止策を講じましょう。
- 果樹や野菜、生ごみなどを適切に管理し、野生動物を人里に引き寄せないように努めましょう。

カ その他歴史的・文化的環境との調和のために

- 歴史的な街なみや建物の保存に協力しましょう。
- 郷土の祭りや年中行事、伝統芸能などの伝承活動に協力しましょう。
- 地場産の食材を活用し、伝統的な食文化の継承に協力しましょう。

(5) 環境分野5 協働による環境保全の取組

ア 環境に配慮した事業活動を進めるために

- 環境保全のための担当部署を設置するなど、環境管理体制を整備しましょう。
- 環境配慮に関する方針や目標の設定、マニュアルなどを整備しましょう。
- 環境マネジメントシステム^{*}の導入に努めましょう。
- 環境ラベルのある製品を優先するなど、グリーン購入^{*}に努めましょう。
- 事業の実施に対する環境への影響を予測・評価し、適切な対策を行いましょう。

イ 社内の環境教育のために

- 職場における環境教育・環境学習の推進に努めましょう。
- 環境保全についての専門的知識や資格を持った人材を育成したり、環境カウンセラー^{*}等の講師を活用したりしましょう。

ウ 環境情報を活用、提供するために

- 環境に関する法規制等の情報を入手し、対応しましょう。
- 地域での環境保全活動に関する情報交換の場に参加しましょう。
- 事業者自らが取り組んでいる環境保全活動の状況をホームページや環境報告書^{*}などで公表しましょう。

エ 地域に貢献するために

- 子どもたちの環境教育・環境学習を支援しましょう。
- 市や市民団体などが行う環境保全活動、環境教育・環境学習活動への参加・協力を努めましょう。

コラム16 身近なため池の生きものたちを学んでみよう

秋田市では、市内の山や川などにごのような生きものがいるのかを調べる「自然環境調査」を行っていて、その調査結果をもとに、パンフレット「秋田市のため池の生きものたち」を発行しています。

秋田市には豊かな自然がたくさん残っていて、特に「ため池」と呼ばれる池の周辺には、水辺の植物や、昆虫、魚、それを食べるために集まる鳥など、たくさんの種類の生きものが複雑に関わりあって存在しています。

この冊子では、調査で分かった生きものたちについて、植物、鳥、魚、貝、両生類・は虫類、昆虫の6つの種類に分けて生息・生育状況を紹介しています。

是非、ご覧ください。

●秋田市のため池の生きものたち



参考：秋田市役所公式サイト「<https://www.city.akita.lg.jp/>」の「サイト内検索」で「ため池パンフレット」を検索